



株式会社

健康食品・化粧品のOEM(受託製造)、委託メーカー

AFC-HD アムスライフサイエンス

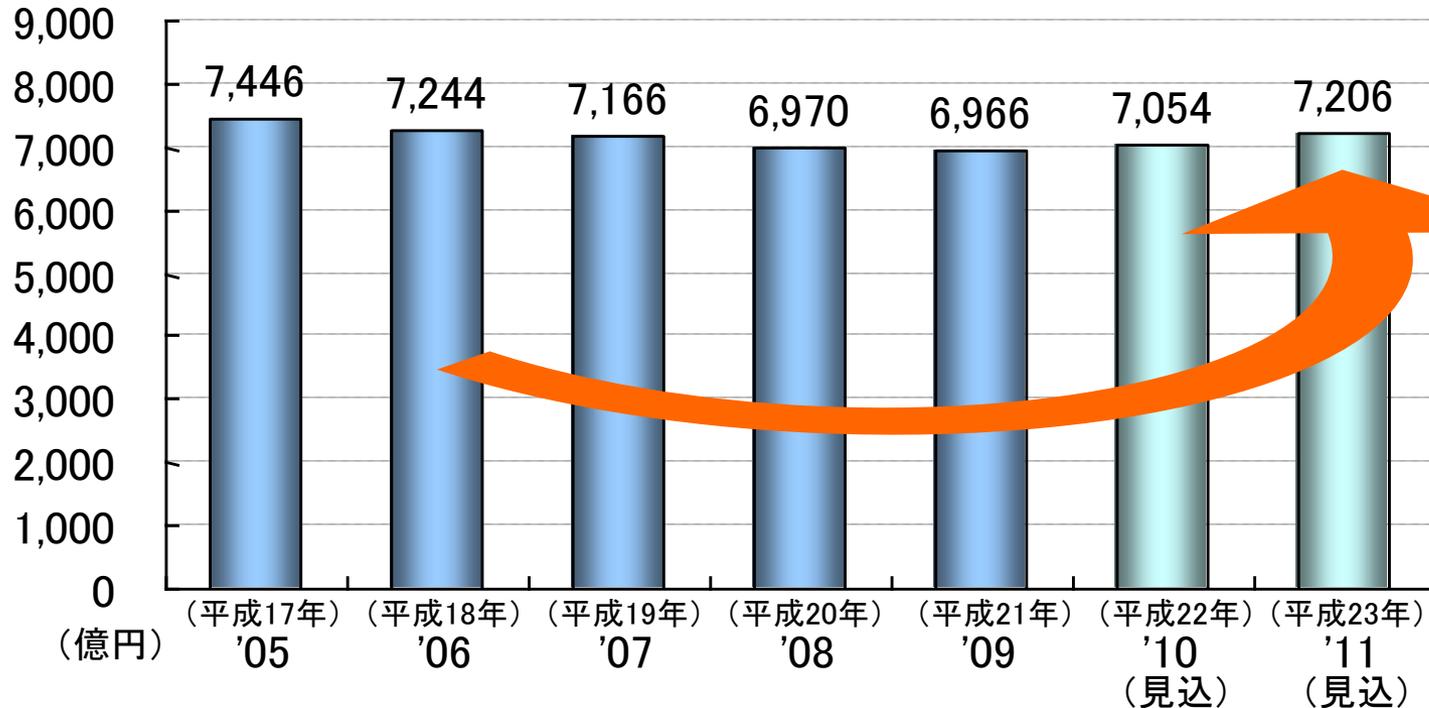
## 平成22年8月期 決算説明会資料

(平成21年9月1日～平成22年8月31日)



# 健康食品市場推移 (メーカー出荷金額ベース)

(出典:戦略企画)



ダイエットブームなど健康・美容への意識の高まりにより急成長を続けた市場は、法規制・監視の強化や健康情報番組の減退によるヒット素材の不在等によりマイナスへ転じた。しかしながら少子高齢化の進行を背景に、健康志向と予防への意識向上はなお高まっており、現在ほぼ横ばいの推移となっている。



# 決算報告

平成22年8月期 グループ指針「情熱」





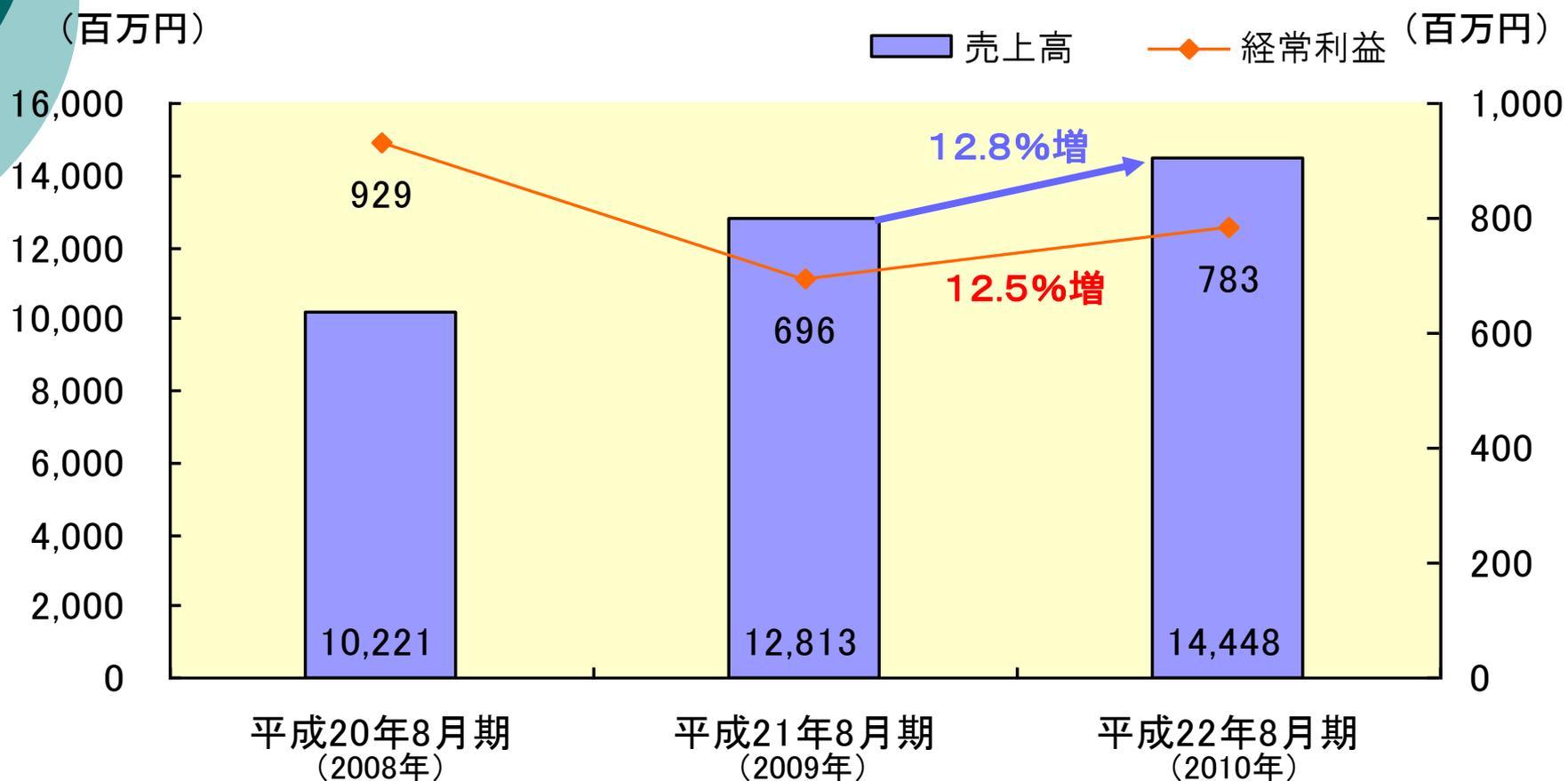
# 連結決算の状況

## 連結業績比較表 (直近3期間)

(単位:百万円)

連結	(2008年) 平成20年 8月期実績	(2009年) 平成21年 8月期実績	(2010年) 平成22年 8月期実績	対前期 増減率
売上高	10,221	12,813	<b>14,448</b>	12.8%
営業利益	849	737	<b>767</b>	4.1%
経常利益	929	696	<b>783</b>	12.5%
当期純利益	354	129	<b>195</b>	50.4%
経常利益率	9.1%	5.4%	<b>5.4%</b>	-

# 連結 業績推移





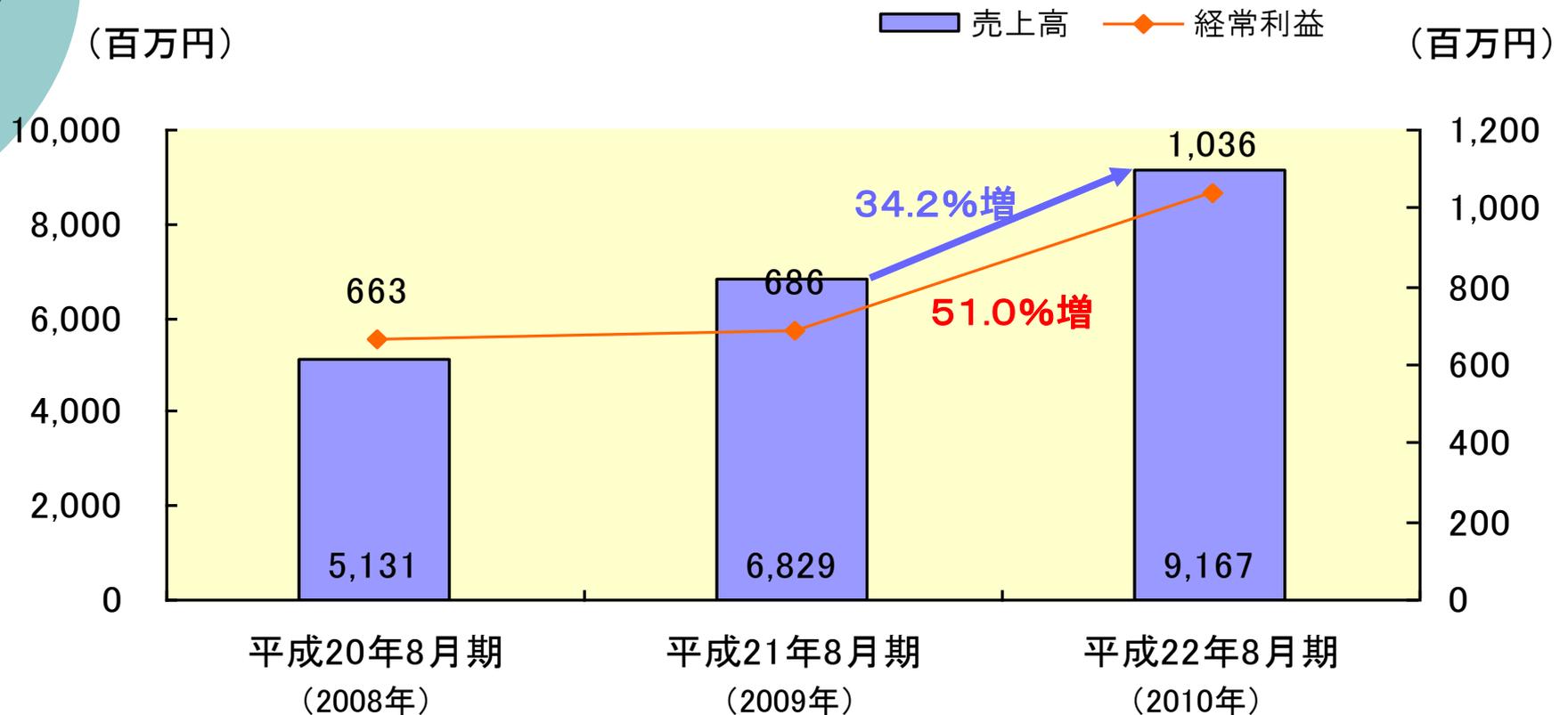
# 単体決算の状況

## 単体業績比較表 (直近3期間)

(単位:百万円)

単体	(2008年) 平成20年 8月期実績	(2009年) 平成21年 8月期実績	(2010年) 平成22年 8月期実績	対前期 増減率
売上高	5,131	6,829	<b>9,167</b>	34.2%
営業利益	581	716	<b>1,067</b>	49.0%
経常利益	663	686	<b>1,036</b>	51.0%
当期純利益	359	165	<b>386</b>	133.8%
経常利益率	12.9%	10.0%	<b>11.3%</b>	-

# 単体 業績推移



# 平成22年8月期 総括

(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

## 【増収要因】

■ OEM部門の好調（前期対比38.0%増）

■ M&Aによる効果

➤ 平成20年12月グループ傘下となったAFCもりや売上実績完全寄与

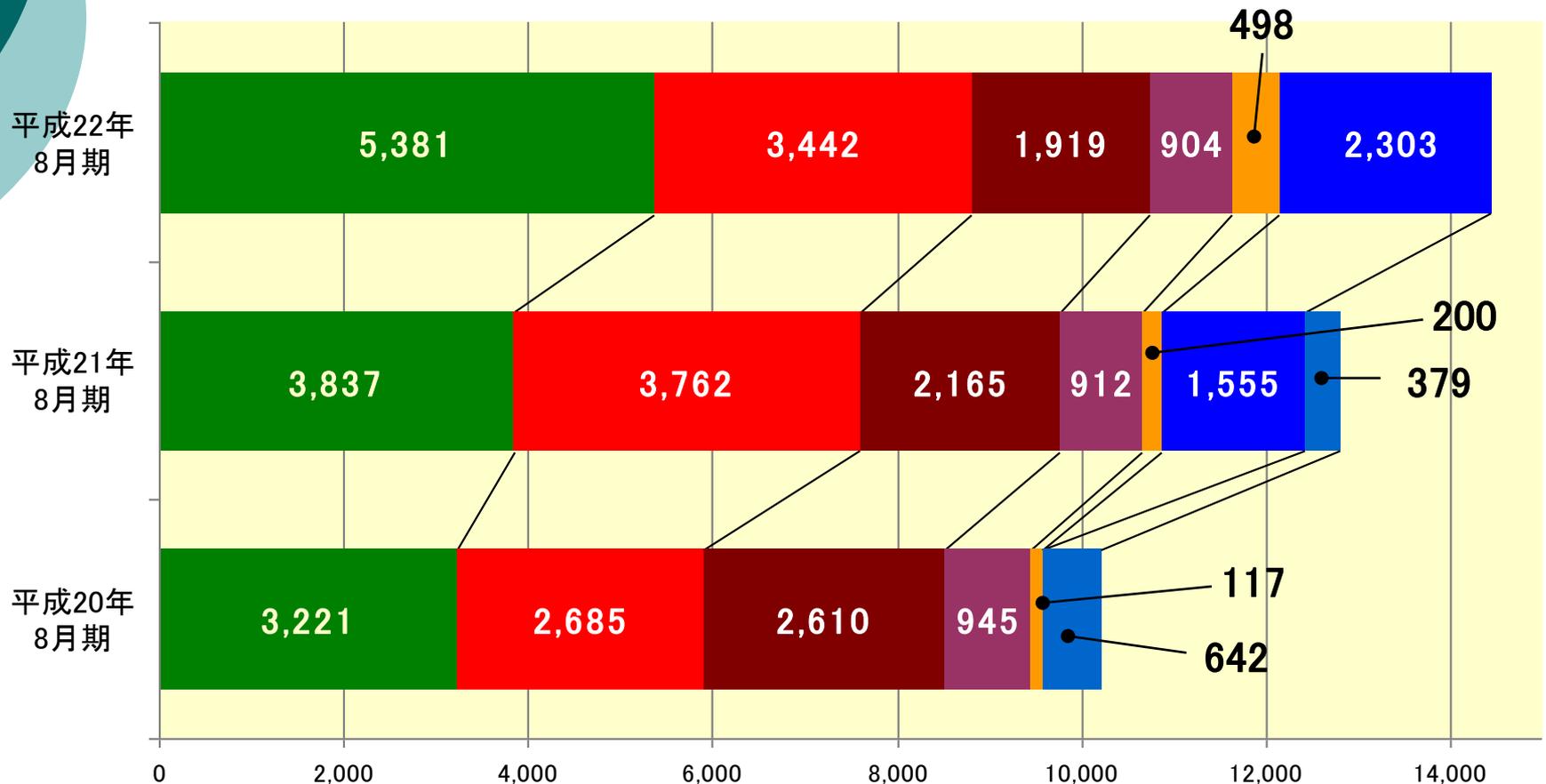
## 【増益要因】

■ OEM部門の増収により、グループ会社のマイナス分をカバー

# グループ売上構成比

(単位:百万円)

■ AMS ■ AFC ■ 本草 ■ 正直村 ■ けんこうTV ■ AFCもりや ■ その他



# AFC-HDアムスライフグループ

健康食品・化粧品の研究・開発

**(株)日本予防医学研究所**

広告代理事業・健康情報発信

**(株)けんこうTV**

健康食品・化粧品の通信販売

**(株)エーエフシー**

平成20.12～ **(株)華舞**

漢方医療用医薬品・一般医薬品の製造  
販売及びジェネリック医薬品の販売

平成19.6～ **本草製薬(株)**

自然食品の小売・卸売

平成19.6～ **(株)正直村**

健康食品・自然食品・自然化粧品・医薬品・医薬  
部外品・一般食品の小売・卸売

平成20.12～ **(株)AFCもりや**  
(平成21.5社名変更)

  当社設立によりグループ会社化

  M&Aによりグループ会社化

## 年 表

平成21年	
11月	上海亜沛希商貿有限公司 営業許可取得
平成22年	
1月	国吉田工場用地取得
3月	(株)AFC-HDアムスライフサイエンス へ社名変更
	(株)けんこうTV企画・運営による CS放送「240スタイル」開始
12月	新工場建設着工予定
平成23年	
7月	新工場建設竣工予定

平成22.3社名変更  
 (株)AFC・HDアムスライフサイエンス  
 健康食品・化粧品の受託総合(OEM)メーカー



# AFC-HDアムスライフグループ 事業報告と次期展開

平成23年8月期 グループ指針「飛躍」

# 新工場完成による各ライン生産量増加率(予定)



【平成23年(2011年)夏 完成予定図】

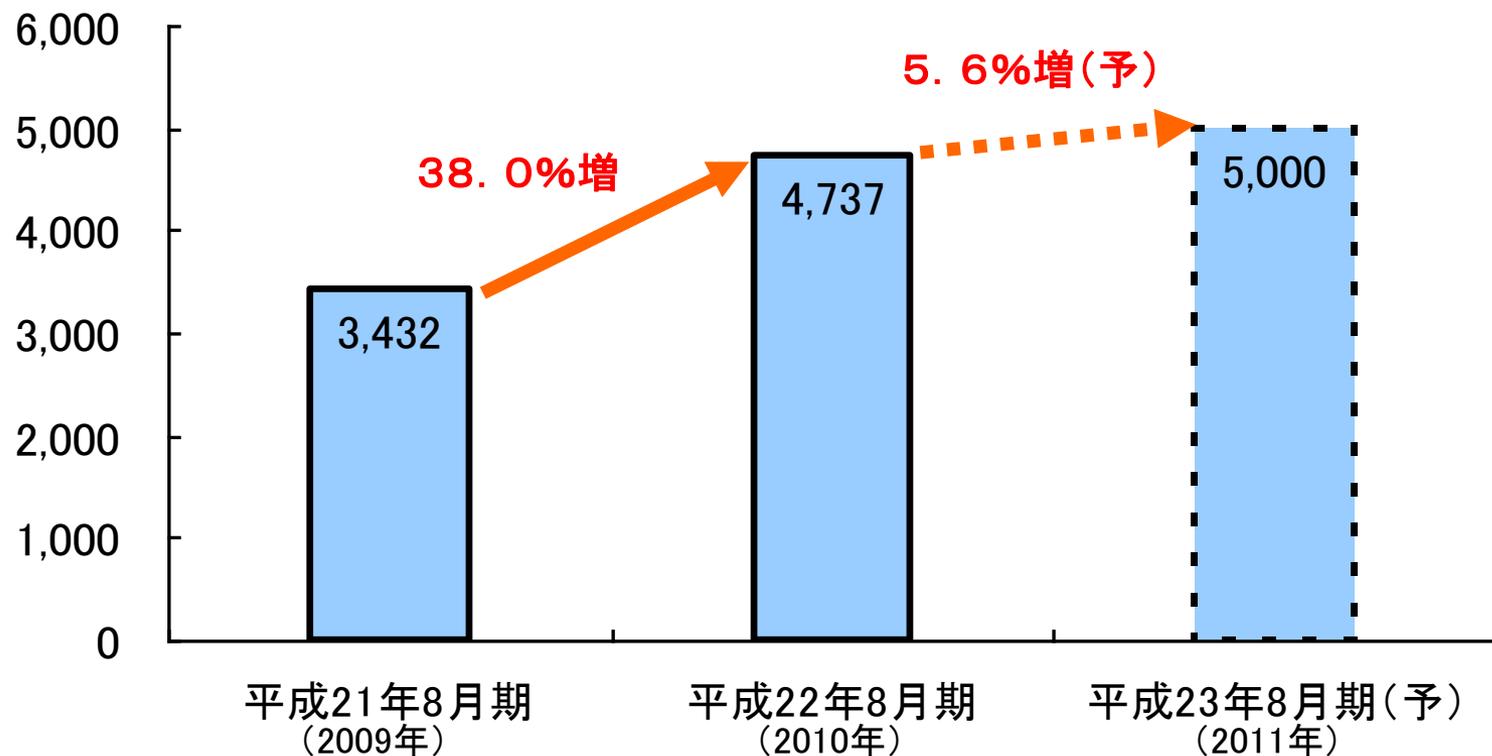
- ソフトカプセル・・・2.2倍
- スティック分包・・・1.5倍
- アルミ袋充填・・・1.3倍
- 打錠・・・1.4倍
- 造粒・・・1.2倍
- 化粧品・・・現在の5倍～10倍の能力増

総合生産能力は現在の2.5倍前後まで引き上げ可能



# AFC-HDアムスライフサイエンス OEM売上高推移

(単位:百万円)





# AFC-HDアムスライフサイエンス OEM事業報告・展開

## 平成22年8月期

- 大ロット注文の獲得の成功
- 受注量・新規取引先の増加
- 上記による工場の稼働率大幅アップ

### 背景

- 健康補助食品GMP浸透による信用力アップ
- 顧客ニーズに対してスピーディに対応可能な管理体制
- 市場牽引するベーシック素材を主力商品とする取引先に特化した営業の成功

## 平成23年8月期

- 新工場建設に向け、大ロット注文のさらなる獲得
- 上記に最適な設備導入  
→ 製造コストの低減へ
- 継続的な需要を期待できるベーシック素材を扱う取引先に引き続き積極的に販売

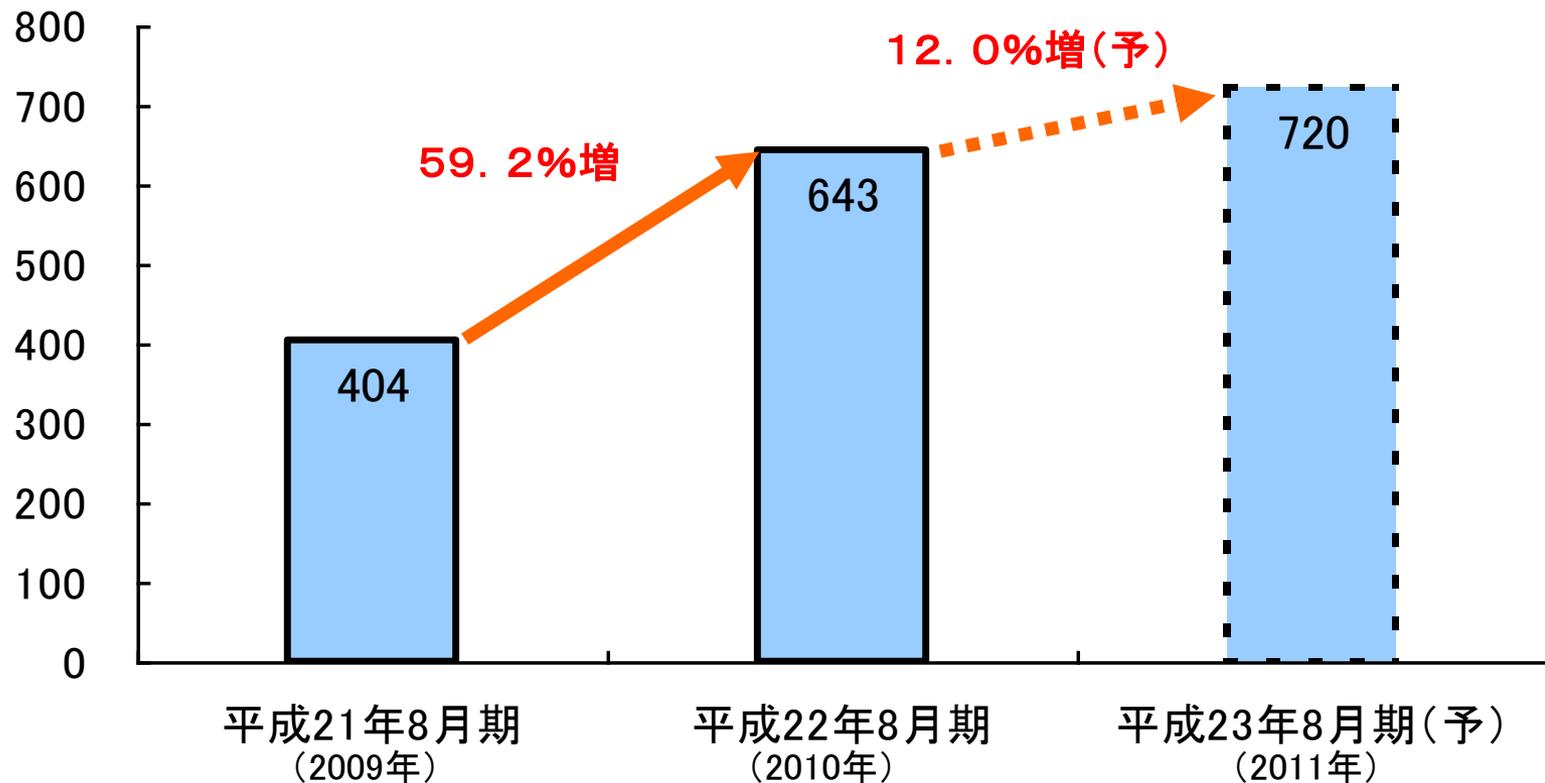
### ベーシック素材

- ★関節系: グルコサミン、コンドロイチン
- ★アイケア: ブルーベリー、ルテイン
- ★伝統系: 黒酢、青汁



# AFC-HDアムスライフサイエンス 国際部 売上高推移

(単位:百万円)





## AFC-HDアムスライフサイエンス 国際部事業報告・展開

### 平成22年8月期

- シンガポールにおける拡販成功  
【OEM販売実績アップ】  
コラーゲンドリンク及び同シリーズのフェイスマスク  
【AFC商品販売実績アップ】  
爽快柑シャンプー&育毛剤
- 台湾AFC商品販売好調  
子供向けサプリメント
- フィリピンOEM販売好調  
美容サプリメント

#### 背景

アジアにおける美容への意識の高さ

### 平成23年8月期

- AFCブランディング強化
- 上海AFCの基盤作り
- 新規OEM取引先の開拓・獲得
- 韓国におけるOEM受注拡大

# 上海亞沛希 (AFC) 商貿有限公司の状況

- 平成21年11月4日付にて営業許可取得
- 平成22年10月15日現在、8品目の輸入許可取得
- 中国の複雑な輸入許可制度により計画遅延



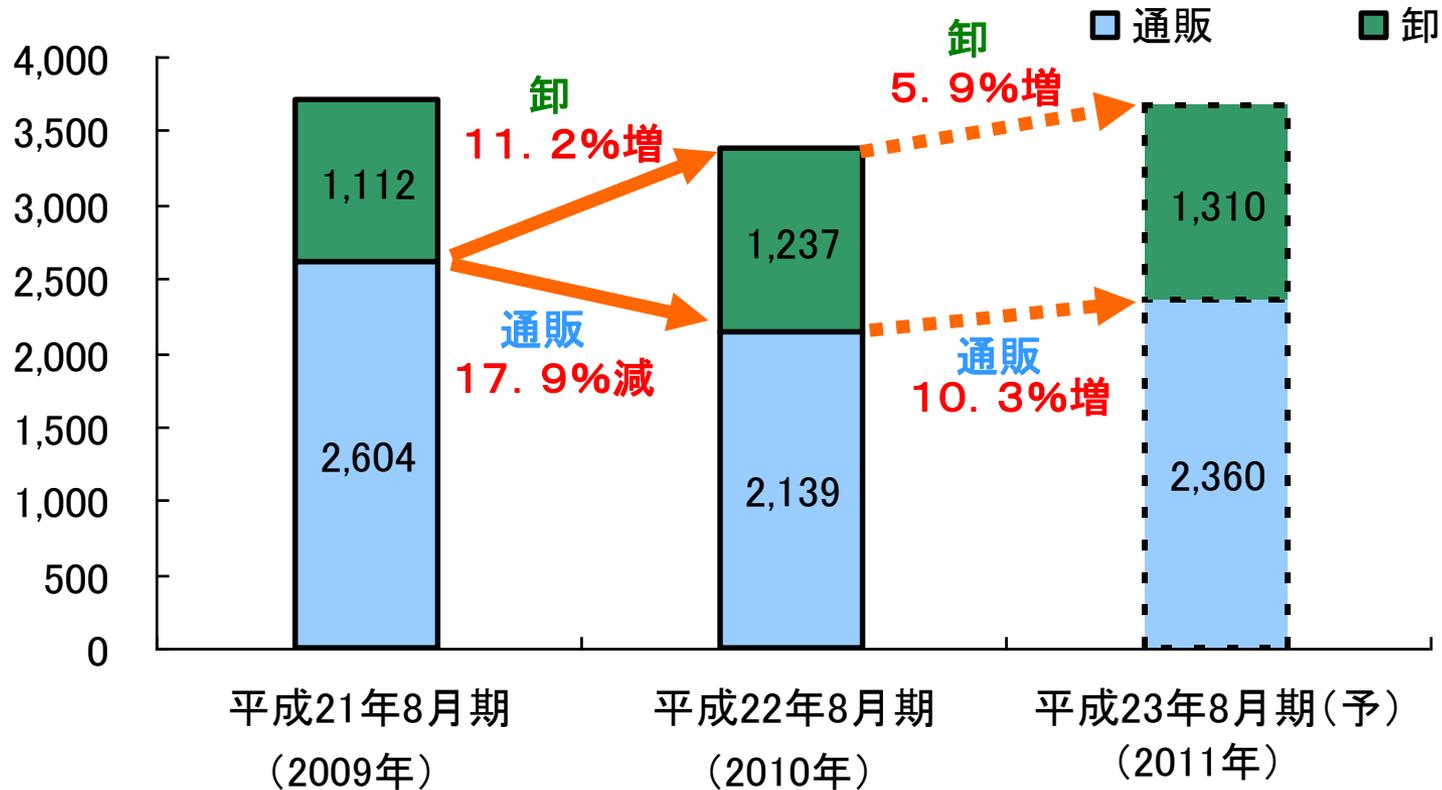
- 現地スタッフと連携し、手続・業務の効率化を図る
- 今期販売開始に向け、ブランディング・基盤の強化

**AFC=MADE IN JAPAN=安心・安全・高品質**



# エーエフシー 通信販売事業部売上高推移

(単位:百万円)





# エーエフシー 通信販売事業報告

平成22年8月期

背景:けんこうTVのCS放送局譲受をきっかけに紙面媒体からTV媒体へ広告比重を試験的にシフト

- 紙面媒体で定期的に得ていた新規顧客獲得数及び売上の減少
- TV放映考査の問題等により自社製品番組を計画どおり放送できなかった
- 広告・宣伝費の増加

平成23年8月期

- TV媒体向け商材、設定価格帯等視聴者反応の良い広告・番組作り
- 映像・紙面両媒体の広告宣伝割合の最適化を図る
- コールセンターによる顧客へのフォロー強化
- 若い世代をターゲットとした商品開発

【女性向けダイエット食品】



【男性用化粧品シリーズ】





# エーエフシー 卸販売事業報告・展開

## 平成22年8月期

- ブランド認知度向上を図った
  - ①映像と紙面のメディアミックス広告
  - ②展示会への積極参加

取引先獲得に成功したが、展示会の参加については、費用対効果が低かったため、改善点を踏まえた上での検討が必要

- 500円シリーズの充実



## 平成23年8月期

- 引き続きブランド認知度向上を図る
- 500円シリーズの更なる充実に新顧客層の開拓
- 既存商品のリニューアルにより顧客の深堀
- 会員制卸売り型小売店への進出により拡販を狙う

WR<sup>®</sup>

ダブルアール 岸和田

2010年10月1日

グランドオープン!





エーエフシー

卸販売事業部

MediaMix店舗の展開

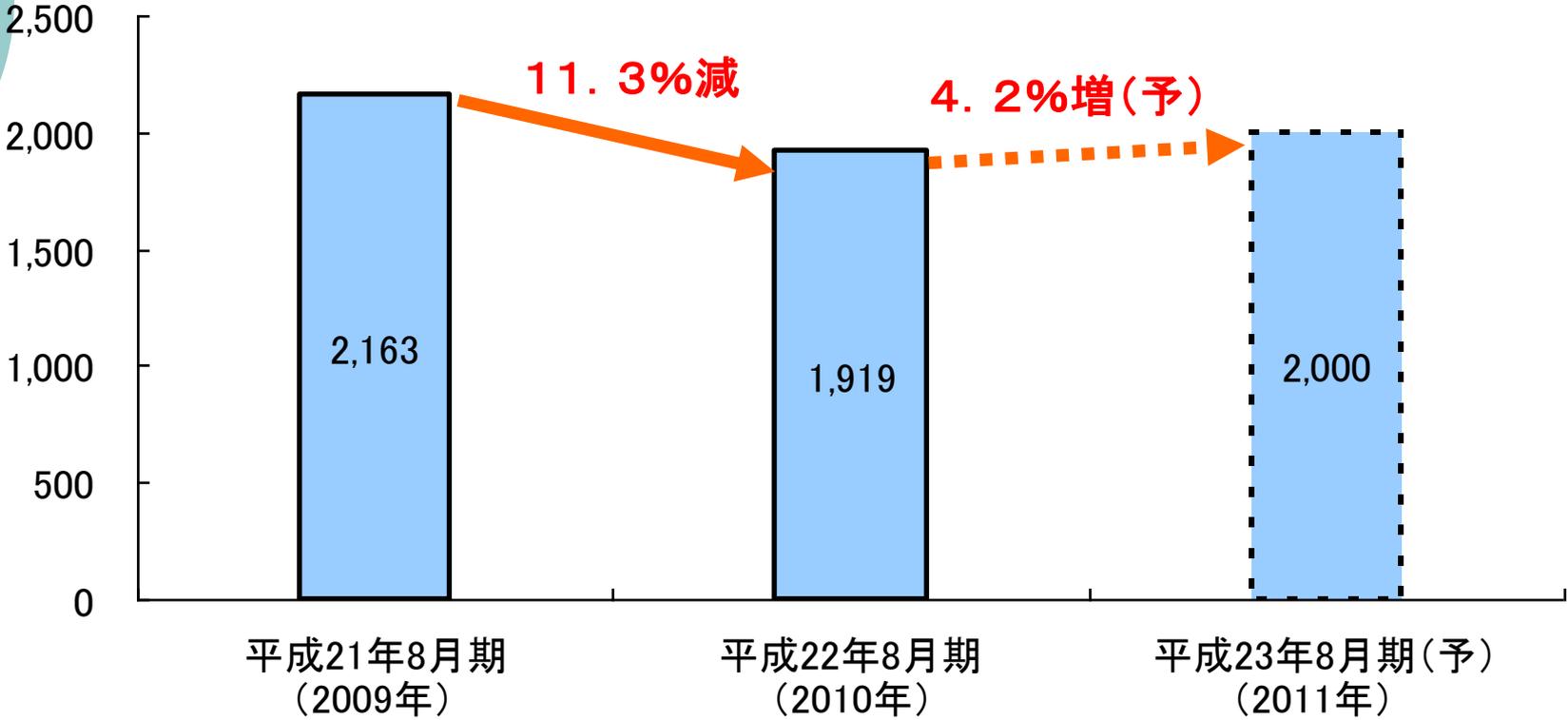


グループ会社けんこうTV制作による広告映像やPOP等映像と紙面の併用により、消費者の視覚・聴覚から訴求  
前期に引き続き今期もメディアミックス広告で販促活動を展開



漢方の老舗  
**本草製薬(株)売上高推移**

(単位: 百万円)



## 平成22年8月期

- 医療機関(病院・診療所)への積極的新規開拓  
→ 患者の医療費負担軽減のため低価格を訴求
- 茶剤・サプリメント等の新製品開発に注力
- 医療機関へのメディカルサプリの積極的販売



## 平成23年8月期

- 診断群分類包括評価方式(DPC)採用病院の積極的開拓

入院患者1日あたりの点数(診療報酬)一定 → 診療報酬と薬剤仕入代との差額が利益 → 低薬価を選考 → 本草有利

- AFC商品の積極的販売

自社製造品で販売 → コスト競争力強化

- 生薬を使った健康食品の販売

漢方薬メーカーのイメージ・ノウハウ活かす

- 健康食品原料の輸入販売

→ 中国提携企業の原料調達力発揮

- メディカルサプリの継続的拡販

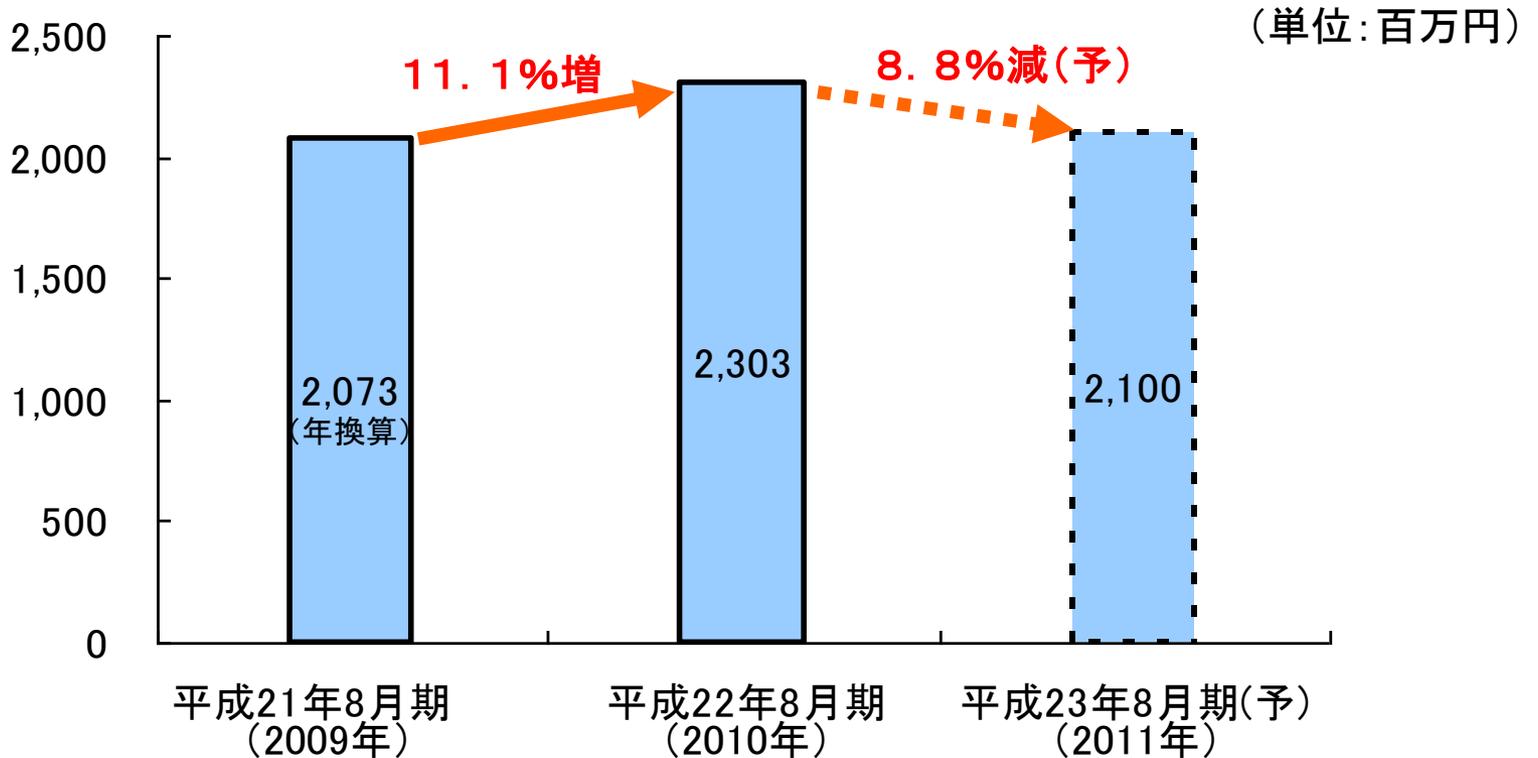
→ 「医療機関向けサプリアーカー」のイメージ定着へ

- 原料加工工程の一部海外移転によるコストダウン  
→ 利益率の改善



健食業界の老舗

# (株)AFCもりや売上高推移



(実質9ヶ月間: 1,555百万円)

百貨店売上が30ヵ月連続マイナスの中、フェア開催などにより顧客の流出を防止。前年並みの売上を維持できた。

予算の低減理由として、法人卸部門がエーエフシーへ移管されたため、その減収分を反映。



# 健食業界の老舗 (株)AFCもりや事業報告・展開

## 平成22年8月期

### ●店舗数推移

前期店舗数	53
新規店舗数	11
閉店店舗数	2
合計	62

●自社製品販売比率を高めたことにより、利益率が向上

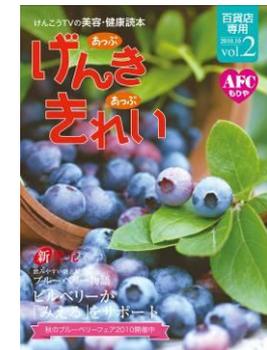
●定期的にフェア開催

●顧客フォローの徹底

顧客流出防止成功

## 平成23年8月期

- 百貨店専用自社製品掲載会報誌の発刊により店販通販の確立  
→新規会員・睡眠会員の呼び起こし



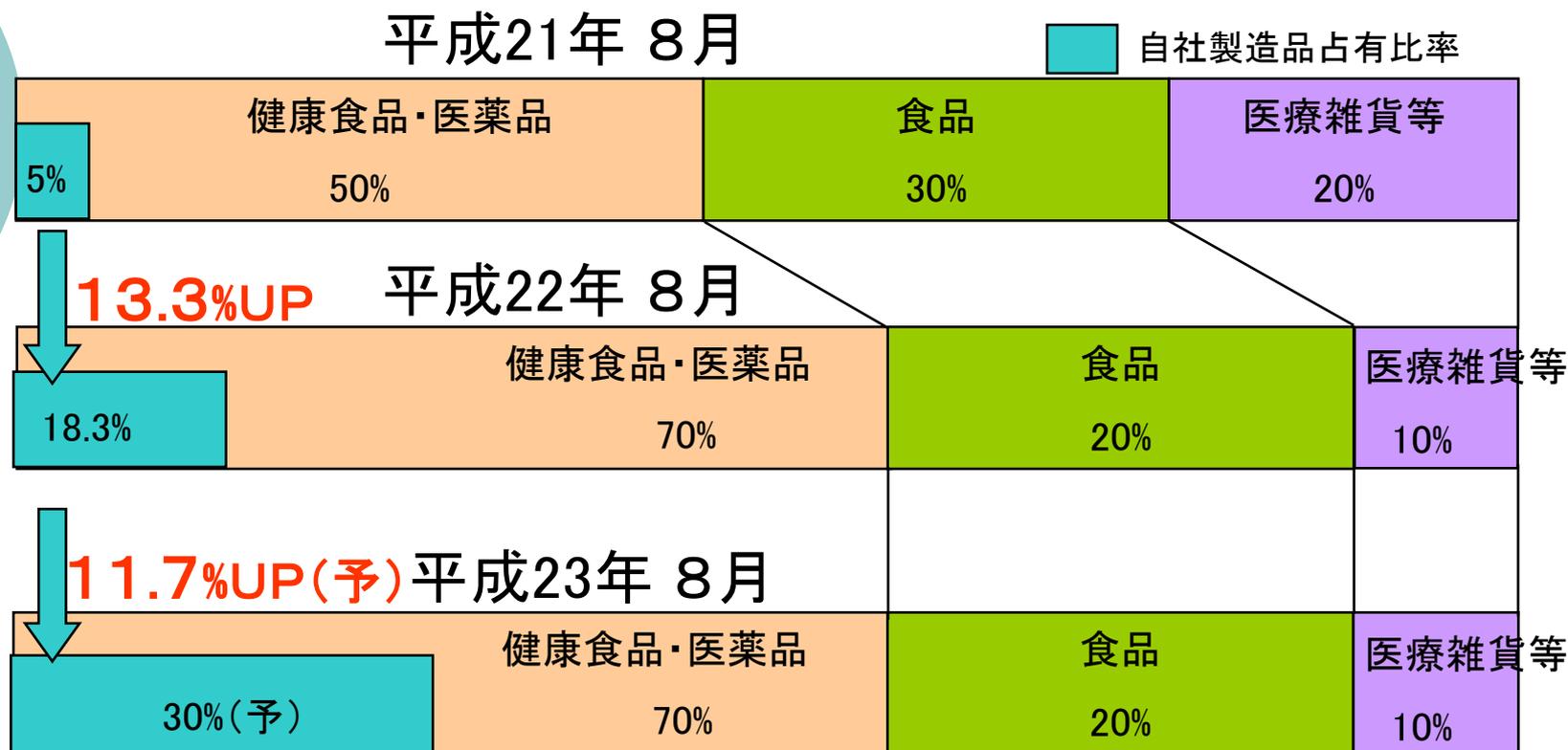
●新聞折込広告による新規顧客の獲得

●フェア等の開催による販売促進の強化



(株)AFCもりや

# 自社製品比率の進捗状況



健康食品・医薬品構成比率は 50% → 70% へアップ

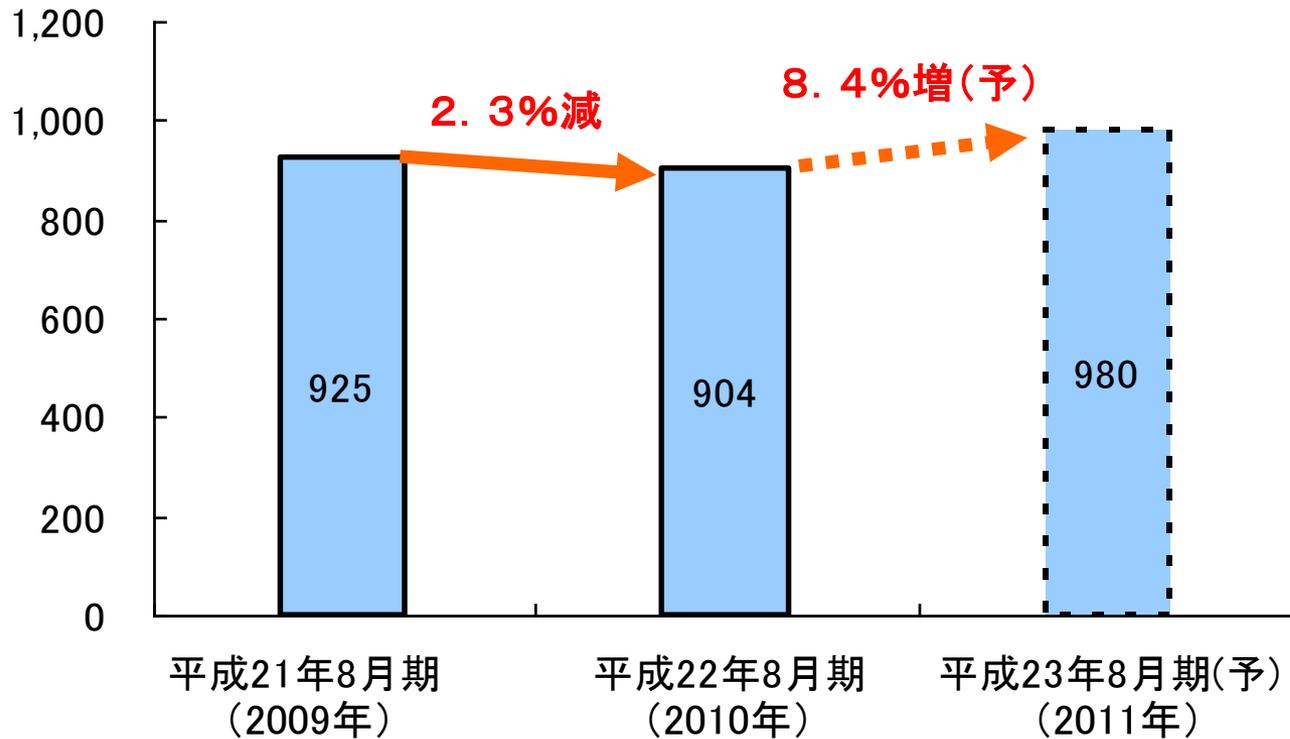
この構成比率を維持し、自社製造品占有比率30%を引き続き目指す



自然食品の小売・卸売販売

# (株)正直村売上高推移

(単位:百万円)



異常気象による農作物の価格の高騰や、百貨店の不況の影響は受けたものの、積極的な商材の開発等により前年並みの売上高を維持できた



自然食品の小売・卸売販売

# (株)正直村事業報告・展開

## 平成22年8月期

### ●店舗数推移

前期店舗数	9
新規店舗数	4
閉店店舗数	1
合計	12

### ●積極的な商材の開発



## 平成23年8月期

### ●新規店舗数の拡大



【9月3日オープン 高島屋港南台店】

### ●引き続き百貨店優良顧客名簿 を利用した販売戦略の展開

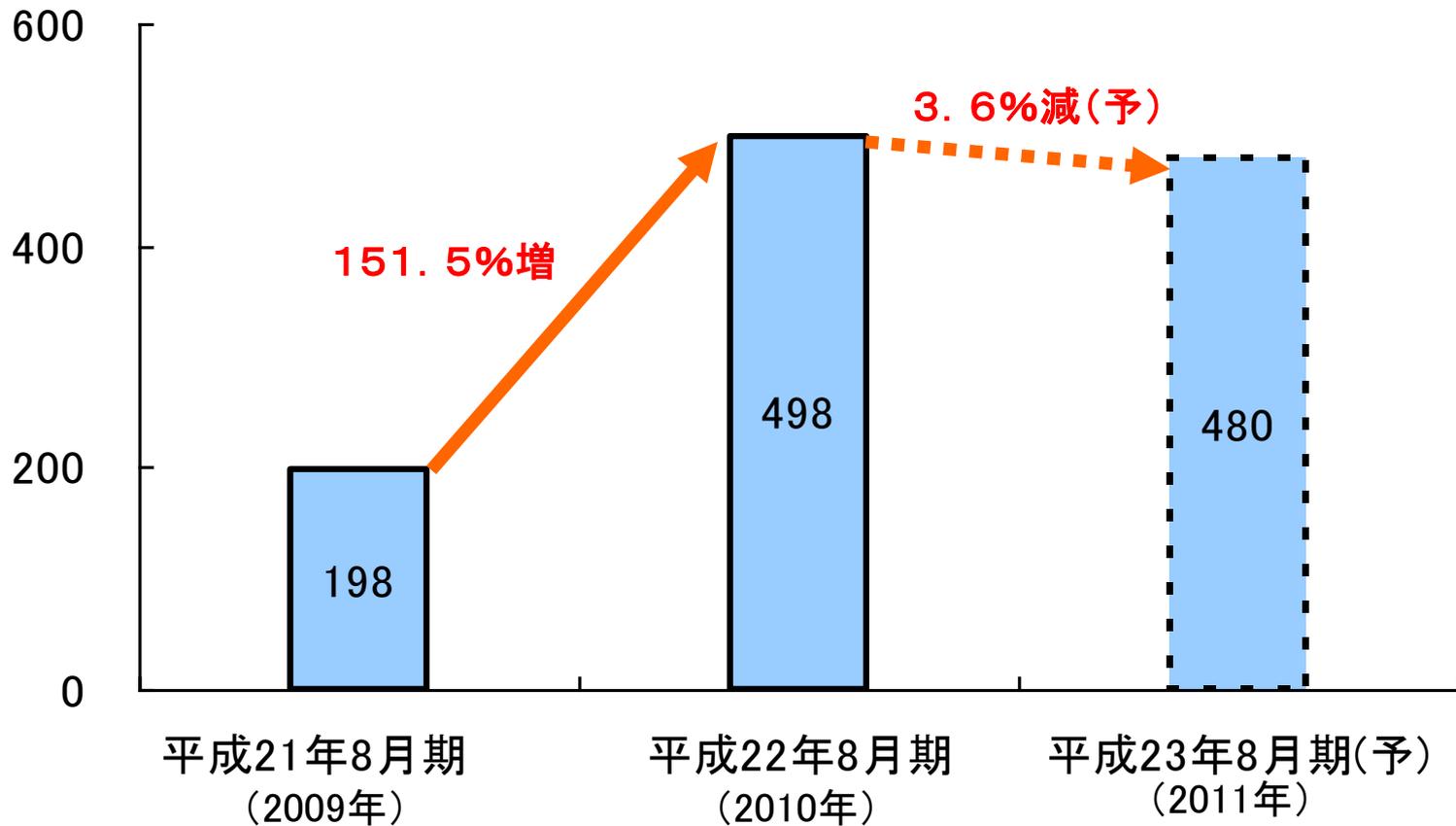
### ●人材の育成



健康と美の情報発信

# (株)けんこうTV売上高推移

(単位:百万円)





## 平成22年8月期

### ●グループ外企業取引先数

平成21年8月期	15
平成22年8月期	25
平成23年8月期(予)	40

- 自社スタジオ & 専門スタッフの活用により小回りの利く番組制作に、自社保有の全国地上波・BS・CS放送枠とセットで提供
- 協賛型TVショッピング事業は放送枠確保のリスクが大きく、安定した収益が得られにくかった

## 平成23年8月期

- **地元局とのタイアップ企画**
- 紙面やWEBと連動した総合通販サービスの展開
- 著作権事業への切り替えにより放送枠過剰保有リスクの回避
- 自社CS放送チャンネルの充実を図り、グループ外企業への放送枠販売強化





# 日本予防医学研究所

## 中国 康縁(カンヨン)薬業の概要

### 2007年度より技術交流を開始

従業員数： 5,000名

事業内容： 医療用漢方・医薬品・健康食品の製造・販売

資本金： 3億 2千万元  
(3,600百万円)

売上高： 25億元(2009年)  
(33,400百万円)



康縁薬業研究開発センター(研究員146名)

ポスドク 2名、博士、10名、

修士 47名、大学卒 87名





# 日本予防医学研究所

## 中国 康縁薬業における技術協力

“漢方医薬品に使用するエキス末製造委託の検討”

- 外国原薬製造所の認可を取得(2010/06)
- 技術協力によりエキス末収量をアップし、品質安定化に成功
- エクス末の規格、製造手順、試験規格等の標準化を完了した。
- 製造所の追加申請(2010/12予定)
- 康縁薬業で製造したエキス末の同等性の検討(2011/01開始予定)

生産拠点の一部を中国に委託、原料から  
エキス末の一貫生産体制が可能となります。



トレーサビリティ体制を充実させる





# 日本予防医学研究所

## 中国 康縁薬業との今後の課題

“中国特定保健用食品(中国版トクホ)の共同開発”

- ◎ 中国健康食品市場は、経済成長に伴う富裕層・中間層の増大により巨大な消費市場として注目される。また、健康食品に対する潜在ニーズが高い中国での市場を確保できる。
- ◎ 康縁薬業が培った研究開発能力を背景に新素材を用いたサプリメント開発商品を双方の技術力によって進める計画である。

日本予防医学研究所

日本国内で実績のある有効素材の選択・安全性の情報データを提供

製剤化研究、安全性試験、機能性試験

中国版トクホ共同申請

# AFC-HDアムスライフグループ次期見通し



平成23年8月期重点施策：**AFCブランドの強化**

# 平成23年(2011年)8月期(連結)

(単位:百万円)

	(2009年) 平成21年8月期 実績	(2010年) 平成22年8月期 実績	(2011年) 平成23年8月期 通期目標	対前期 増減率
売上高	12,813	14,448	15,000	3.8%
営業利益	737	767	630	△17.9%
経常利益	696	783	580	△26.0%
当期純利益	129	195	200	2.5%

■ AMS ■ AFC ■ 本草 ■ 正直村 ■ けんこうTV ■ AFCもりや

(2011年)  
平成23年8月期  
目標売上高  
各社内訳



最後まで御覧いただきまして誠にありがとうございました



**株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス**

本資料に関するお問合せ

社長室

TEL : 054-281-5238

FAX : 054-281-5979

E-mail : [ir-ams@ams-life.com](mailto:ir-ams@ams-life.com)

Home Page : <http://www.ams-life.com/>